

## 第18回日本血液学会関東甲信越地方会幹事会議事録

日時：2024年3月9日(土) 14:30~15:20

会場：ステーションコンファレンス東京 6F 602A

出席者：中島 秀明（代表）、桐戸 敬太（副代表）、矢野 真吾（第20回会長）、  
新井 文子、安藤 美樹、石田 文宏、市川 幹、伊豆津 宏二、入内島 裕乃、  
内田 直之、片岡 圭亮、加藤 元博、神田 善伸、黒川 峰夫、黒田 裕行、  
康 勝好、後藤 明彦、堺田 恵美子、坂田（柳元） 麻実子、鈴木 隆浩、  
高山 信之、瀧澤 淳、田村 秀人、富田 直人、中世古 知昭、萩原 政夫、  
服部 憲路、半田 寛、藤澤 信、藤原 慎一郎、丸山 大、山口 博樹  
（以上幹事32名；幹事会は成立）

欠席者：青墳 信之、石田 禎夫、犬飼 岳史、川田 浩志、木村 文彦、熊谷 隆志、  
酒井 リカ、塚崎 邦弘、辻村 秀樹、中沢 洋三、南谷 泰仁、長谷川 雄一、  
松田 晃、三谷 絹子、南陽 介、三村 尚也、森 毅彦、土岐 典子（監事）、  
長谷川 大輔（監事）

陪席：太平 史織（事務支局）

議事：

1. 前回議事録確認

地方会WEBサイトに掲載済の議事録を参考資料として配布、確認した。

2. 幹事名簿確認

幹事新任5名の先生を確認した。現在の幹事数は51名であり、3月末で幹事(新潟県)1名が退任され、50名となる。

3. 土岐典子先生後任の監事について

中島代表より、白杵憲祐先生の役員定年に伴い、会則に2名と規定されている大学病院外の病院勤務者である運営委員の欠員1名が生じ、運営委員会で現在監事の土岐典子先生（がん・感染症センター都立駒込病院）を後任の運営委員に推薦することを検討、2月6日に幹事会メール審議を行い、承認を得たことが報告された。土岐典子先生の後任監事として、幹事より内田直之先生（虎の門病院）の推薦があり、

中島代表より運営委員会にて検討したことが報告され、異議無く承認された。

4. 第19回地方会（2023.7）開催について

2023年7月15日（土）山梨県立図書館（山梨県甲府市）にて開催、桐戸会長より、収支決算の最終報告があった。

5. 第20回地方会（2024.3）開催について

矢野会長より、今回から現地開催とし、共催セミナー13枠、プログラム抄録集広告15社、企業展示1社、登録演題78題等の収支予算案の報告があり、参加者数は439名となった。

6. 第21回地方会（2024.7）開催について

鈴木会長より、会期2024年7月27日（土）、会場 湯本富士屋ホテル（神奈川県足柄下郡）、現地開催予定であり、第15回研修医（初期、後期）のための血液学セミナーと当初の会期が重なっていたため、会期を変更したこと、演題募集を延長したこと等の報告があった。

7. 第6回若手教育セミナーについて

桐戸企画委員長（副代表）より、前回同様に完全対面にて日本医科大学に於いて、2024年8月31日（土）13時～17時に開催予定であること、新たにプログラムに小児科領域を含めること、医学部3～6年生、2年目までの初期研修医の先生方にセミナーをご周知頂きたいこと等の説明があった。

8. 第22回地方会会長（2025.3）・第23回地方会会長（2025.7）について

幹事より第22回地方会会長（2025.3）として、伊豆津宏二先生（国立がん研究センター中央病院）、第23回地方会会長（2025.7）として、中世古知昭先生（国際医療福祉大学）の推薦があり、中島代表より運営委員会にて両名を選出したことが報告され、一同異議無く両名は承認された。第22回地方会（2025.3）は東京で、第23回地方会（2025.7）は千葉で開催を予定している。

9. 臨床研究支援について

ワーキンググループ座長の加藤元博先生（東京大学）より、2023年度選考の振り返りと次年度の募集について報告があった。2023年度は22件の応募があり、選考委員会で合議での採点審査を実施し、採択件数を6題と多めに設定、支援金総額

400万円（内訳：1位200万円、2位～4位50万円、5位30万円、6位20万円）、第20回地方会で奨励賞の表彰をすること、次年度支援金総額は運営委員会で審議のうえ、暫定で600万円を予定していること等の報告があった。2023年度は基礎研究の応募があったため、減点評価を規約に記載する改定等を行い、継続申請（上限金額200万円、上限3年）は減額も検討している。選考委員は、座長の加藤元博先生、賀古真一先生（自治医科大学さいたま医療センター）、坂田麻実子先生（筑波大学）、中沢洋三先生（信州大学）、山崎悦子先生（横浜市立大学附属病院）、桐戸副代表（山梨大学・運営委員）、後藤明彦先生（東京医科大学・運営委員）が継続、次回の募集も要項をWEBサイトに掲載し、メール周知を行う。

#### 10. 令和5年度会計監査について

中島代表より、臨床研究支援金の会計期間外の支払い分を考慮すると、マイナス収支となるが、第19回・第20回地方会残金の充当により、次年度も大幅なマイナス収支とはならない見込みであること、当地方会は任意団体であるため、臨床研究支援や若手教育セミナーのような事業を拡充している等の説明があり、異議無く承認された。第20回地方会は現地開催にすることで、これまでのハイブリッド開催に比べ、大幅に機材費を節減できた。

#### 11. その他

第22回地方会会長（2025.3）に決定した伊豆津宏二先生（国立がん研究センター中央病院）と、第23回地方会会長（2025.7）に決定した中世古知昭先生（国際医療福祉大学）からご挨拶があった。

以上